

一般質問

議員7人

町政を問う

第2回定例会の一般質問は、6月6・7日に行われました。
紙面の都合により要約してお伝えします。
なお、詳しい内容は吉岡町図書館に
備えてある会議録で確認できます。
また、平成21年第1回定例会以降の会議録は、
吉岡町ホームページでもご覧になれます。

一般質問は、執行機関が提出した
議案と関係なく、町の行政全般にわたって、
議員個人が執行機関に質問し、
見解を求めるものです。
吉岡町では、質問および答弁をあわせて、
1人60分以内の持ち時間があります。

■富岡 大志 議員（13ページ）

1. 八幡山グラウンド拡張事業に関して
2. 障害者施策の課題に関して
3. 学童保育に関して
4. 学校給食に関して

■平形 薫 議員（14ページ）

1. ふるさと納税について
2. 防犯委員会の活動について
3. 当初予算の取り組みについて

■岩崎 信幸 議員（15ページ）

1. 登下校時での安全対策は
2. 障害者対策について
3. 「吉岡町男女共同参画基本計画」が策定されたが
4. 「群馬県鳥獣被害対策の推進に関する条例」に対して問う

■廣嶋 隆 議員（16ページ）

1. 吉岡町災害ハザードマップについて
2. 地震による学校対策と大津市の事故を受けての対策について

■金谷 康弘 議員（17ページ）

1. 都市計画関連
2. 農業施設関連

■五十嵐 善一 議員（18ページ）

1. 地域資源の有効活用に関して
2. 町内5河川の環境保全に関して
3. 成年後見制度に関して
4. 自治会長経由の各種要望事項への対処に関して

■小池 春雄 議員（19ページ）

1. 町長の選挙公約（柴崎徳一郎のお約束）

インターネット配信中です

本会議の様子を生中継、録画でも配信。アクセス方法は

吉岡町議会

検索





とみおか たいし 富岡 大志 議員



録画映像は
こちらをCHECK

400m トラックと サッカー場を

問 八幡山グラウンドには、400mトラックとインフィールドに芝のサッカー場の整備を望む。これらにより陸上競技大会での使用、地域のチームや中学部活などでの利用拡大、陸上競技選手・団体への練習場の提供などで、スポーツ交流人口の増加に伴う地域

答 見直し求める 声が多いこと を認識

答 町長 利用者・関係者からの、見直しを求める声が多くあることを認識している。場合によっては計画区域の拡大も視野に入れ、見直しに取り組みたい。

DEET実施へ具体的な検討を

答 実施に向けた検討を開始

問 町職員へのDEET実施を、もっと具体的に検討されたい。まずはDEET群馬の人とお会いしてみたい。

答 町職員へのDEET実施に向けた検討を開始。DEET群馬への相談も、その過程で考えている。

問 町長 町として手話の課題へ町長の十分な配慮を。

答 町長 町として手話言語条例制定を

問 町長 町として手話言語条例制定を

答 町長 町として手話言語条例制定を

検討。

問 文化センターに隣接する、障害者等用駐車場の設置を。

答 教育委員会事務局 文化センター北側駐車場の一部転用について、今後検討。

問 ペアレントメンターの町事業化を。

答 町長 担当課に実施検討を指示。

問 障害児の就学に、本人と保護者の意向を尊重した配慮を。

答 町長 ある程度の配慮で取り除かれる障壁もある。町として可能な範囲で対応。

問 高学年を中心に学童の待機児童が多数発生。今後もニーズが増える。このままでは間に合わない。間に合わないで待機と言われても、保護者は納得できない。先を見越した上で整備を。

答 町長 本年度、待機児童が発生。今後の児童数増も見込まれる。本年度策定予定の「子ども子育て支援事業計画」により、施設整備について検討。

問 ふるさと納税活用は、モノからコトへのシフトを考えていくべき。寄付の希望使途に、給食の食材追加や給食費補助を選択できるようにしてはどうか。

答 町長 新たな寄付金の使途として検討。

ミニ解説

※1 DEET（障害平等研修）

障害者自身がファシリテーター（進行役）となって進めるワークショップ型の研修。

※2 DEET群馬

群馬県でDEETを推進している団体。ファシリテーター養成講座を修了した3人を中心に活動を行っている。

※3 ペアレントメンター

発達障害のある子どもを育てた親が行う、同じ発達障害のある子どもの親への支援活動。



現在、文化センターには隣接する障害者等用駐車場がない



ひらかた 平形 かおる 薫 議員



録画映像は
こちらをCHECK

ふるさと納税の 財源流出額は

答 282万円の 赤字である

問 ふるさと納税の財源流出額は。

答 財務課長 282万円の赤字である。

問 寄付受け入れ額を税控除額が上回る

答 財務課長 町への寄付額増加よりも、町民の他自治体への寄付額増加の方が多

が。

かったことによる。解決する手段は、寄付額を増やすことだけなので真剣に取り組んでいく。

問 棟東村の寄付受け入れ額は、町と比べて多額である。地域差はないように思うが。

答 財務課長 棟東村は早くからポータ

ルサイトを活用し、人気のある返礼品を提供していることなどが要因と考えられる。

問 応援したい自治体となるような返礼品の工夫は。

答 財務課長 寄付金の使途の見直しは重要と考えている。先進市町村などの事例も参考に、寄付金額増加となるよう取り組んでいく。

防犯委員会とはどのような団体か

答 自主的に防犯啓発活動を行う

問 防犯委員会とはどのような団体か。

答 町民生活課長 自主的に防犯啓発活動を行う。

問 委員はどのような人か。町の関与は。

答 町民生活課長 渋川警察署などから委嘱された、防犯の志を持つ委員32人からなる。町は、補助金の交付や委員会の事務補佐などの支援を行っている。

問 活動はどのようなものか。

答 町民生活課長 活動を継続してほしいと考えていて、会員の確保のため支援したい。

答 町民生活課長 渋川警察署と連携し、町の商業施設や金融機関、小中学校、イベント会場で防犯啓発活動を実施。また、青色防犯パトロール車を使用して、不審者などの発見や犯罪全般の抑止活動を行っている。

問 委員の高齢化が課題であるが、支援策は。

答 町民生活課長 活動を継続してほしいと考えていて、会員の確保のため支援したい。

問 吉中生の東京オリピック観戦の準備状況は。

答 教育委員会事務局 長 6月末までにチケットを申し込む予定。抽選なので当選が確定するのは7月以降。対象者は来年度の吉中生。また、人数枠を設けるので、希望者の中から選抜。来年

度に向けて学校との調整や保護者への情報提供に努める。



防犯「ヨーシ」(青色防犯パトロール車)



いわさきのぶゆき 岩崎 信幸 議員



録画映像は
こちらをCHECK

通学路で、特に危険な交差点の整備を

答 役場入口の5差路は見極めたい

問 県道前橋伊香保線の役場入口の5差路は、ごった返し危険。整備されたい。

答 産業建設課長 膨大な予算が必要である。現在、東側の歩道を、県が整備工事している。その効果により交差点の危険度を見極めたい。

問 歩車分離式の信号を設置しては。

答 産業建設課長 県警が調査を行い、可否を判断する。

問 自転車通学の距離が1kmに変更され、新設された駐輪場の現状と評価は。



交差点の整備が求められる（役場入口5差路）

答 教育委員会事務局 長 123人の利用者増。見通しが良く、点検や管理および登校状況の確認もしやすい。

問 学校側も利用者が増え、より安全面の取り組みの強化が必然となる。その対策は。

答 教育委員会事務局 長 4月に交通安全利用者也指導した。夏休み中の安全についても講話する。

問 吉岡町手話言語条例の制定を求める。

答 吉岡町 町長 制定を目指して進めていく。

問 「吉岡町障害福祉すまいるプラン」に基づき施策を進める。

答 「吉岡町男女共同参画基本計画」が策定されたが、具体的な施策はあるのか。
答 町民生活課長 意識づくりの講演会

町の鳥獣被害対策の推進は

と、12月に「父と子の料理教室」を開催。男女混合名簿の導入は学校運営協議会に諮る。女性農業委員および推進委員の活躍の場を広げる。

答 大型鳥獣は捕獲体制を維持する

問 町での鳥獣被害金額と捕獲数は。

答 町長 平成30年度25万円。イノシシ3頭、シカ3頭、ハクビシン6頭、アライグマ5頭、タヌキ6頭、カラス38羽で、計61。

問 猟友会登録者数と支援費用は。顕彰する考えは。

答 産業建設課長 10人。国の交付金と県の補助金、町の負担金で支援している。顕彰は検討課題。

問 女性が輝ける社会を目指して、※クオータ制を導入しては。

答 町民生活課長 町管理職の女性の割合22・2%。付属機関は19・7%。導入は検討する。

問 町の鳥獣被害への対策と被害防止への組織づくりは。

答 産業建設課長 イノシシなどの大型鳥獣は、今までの捕獲体制を維持。ムクドリなどの小型鳥獣は、町の被害防止対策協議会で検討。

ミニ解説

※クオータ制 政治における男女平等を実現するために、議員・閣僚などの一定数を女性に割り当てる制度。北欧諸国などで法制化して実施されている。